



学校評価の結果がまとまりました

昨年度末、生徒や保護者の皆様からいただきましたアンケート等から、本校の教育活動について分析・考察を行い、現状の課題とその課題の改善方法について、自己評価を行いました。

またその自己評価については、学校関係者評価委員（学校評議員、PTA役員）7名から、自己評価の適切さの評価と学校へのご意見・ご提言をいただきました。

その自己評価の分析・考察や学校関係者評価委員のご提言などの概要についてお知らせします。

なお、学校関係者評価委員からは「3：自己評価は、適切である」「2：どちらともいえない」「1：自己評価は不適切である」の評価もしていただきました。

1 教務部

【21年度目標】

「家庭学習習慣の定着」

(1) 分析・考察

○家庭学習時間調査によると、生徒が勉強する一日の平均時間は約1時間でしたが、調査期間が定期考査前であることから、まだまだ不十分です。

(2) 課題・提言

○家庭学習時間が短く、予習・復習の習慣も身についていません。
○平成25年度からの新教育課程は、進路希望に対応できるように編成してください。

(3) 改善の方策

○宿題を課し平常点に組み入れるなどして、予習・復習の習慣を身につけさせる工夫を行います。
○生徒の夢が実現できる新教育課程を編成します。

【22年度目標（案）】

家庭学習の習慣を身につけさせます。

分析・考察	課題	改善の方法	総合評価
2.6	2.6	2.7	2.6

2 総務部

【21年度目標】

「効果ある学校からの情報発信」「PTA活動の改善」

(1) 分析・考察

○「石高だより」や「保護者向けメール配信」で、行事予定などの情報が発信され、子どもと保護者の話合いの時間が増加しています。また、初めて体育祭に保護者の参観がありました。

(2) 課題・提言

○体育祭など保護者が参観することができる行事を検討してください。

(3) 改善の方策

○参観、参加可能な学校行事を増やすとともに、保護者向けメール配信の内容を充実します。

【22年度目標（案）】

学校の情報発信を質的に充実させます。

分析・考察	課題	改善の方法	総合評価
3.0	2.9	2.9	3.0

3 生徒指導部

【21年度目標】

「中途退学者の減少」

(1) 分析・考察

○中途退学に関係がある欠席、遅刻等についてはインフルエンザの影響があったにもかかわらず、出席率は98.4%と昨年同様に高い数値でした。

(2) 課題・提言

○先生の指導のきめ細やかさを感じる生徒が学年進捗とともに減少していることが気になります。

(3) 改善の方策

○生徒指導にあたり教職員の協働実践と、個別の指導に関する指導力向上に努めます。

【22年度目標（案）】

中途退学者の減少を目指します。

分析・考察	課題	改善の方法	総合評価
2.7	2.9	2.9	2.9

4 進路指導部

【21年度目標】

「進路情報の適切な提供と進路相談による早期の進路実現」

(1) 分析・考察

○進路情報の提供は、生徒、保護者ともほぼ満足しています。
○課外授業や個別指導の実施については、生徒の満足度はやや厳しい評価でした。

(2) 課題・提言

○求人数減少による競争激化に対処できるよう、進路情報の提供と進路相談の充実をお願いします。
○進路実現のために課外授業や個別指導を一層充実させてください。

(3) 改善の方策

○適切な進路情報の提供について「進路だより」や「石高だより」、進路LHRなどをより一層充実させます。
○各種テストとの連携や面接指導の充実を図ります。

【22年度目標（案）】

進路情報の適切な提供と進路相談により、早期の進路実現を目指します。

1次合格者の増加を目指します。

分析・考察	課題	改善の方法	総合評価
2.9	2.7	2.7	2.7

5 人権・同和教育部

【21年度目標】

「視聴覚教材の効果的利用」「人権作品の積極的活用」

(1) 分析・考察

○視聴覚教材を活用したロングホームルームや石高祭での人権展（人権啓発ポスター及び人権詩の展示）がマンネリ化してきたと思われます。

(2) 課題・提言

○人権・同和教育ロングホームルームについては、新しい工夫と改善が必要です。

(3) 改善の方策

○効果的なロングホームルームを実施するための教材を研究（視聴覚教材・参加体験型）します。

○人権映画鑑賞会や講演会などを実施します。

【22年度目標(案)】

視聴覚教材及び人権作品を効果的に利用して、人権・同和教育ロングホームルームを充実します。

分析・考察	課題	改善の方法	総合評価
2.6	2.6	2.7	2.6

6 特別活動部

【21年度目標】

「豊かな充実した学校生活になるための生徒会活動の充実」

(1) 分析・考察

- 学校行事(石高祭・体育祭・クラスマッチなど)に、生徒は楽しく、積極的に参加しています。
- 生徒の部活動加入率は全校生徒の半数程度で、部活動について生徒も保護者も満足はしていません。

(2) 課題・提言

- 学校行事を形骸化することなく、新しい発想で活動できるように生徒会活動をバックアップしてください。
- 部活動加入者数が増加するような工夫をお願いします。

(3) 改善の方策

- 生徒主体の学校行事になるように生徒会活動の活性化するよう、中心となるリーダーを養成します。
- 部活動へ入部するように生徒へ働きかけるとともに、部の活動が活性化するように教員の指導方法や指導技術の向上に努めます。

【22年度目標(案)】

豊かな充実した学校生活になるよう生徒会活動を充実します。

分析・考察	課題	改善の方法	総合評価
2.7	2.6	2.7	2.7

7 環境保健部

【21年度目標】

「基本的な生活習慣の実践能力の向上」

(1) 分析・考察

- さまざまな講話や講習、保健だよりなどの啓発活動で生徒の変容が見られます。
- 生徒、保護者、教職員のスクールカウンセラー活用が十分にできるようになりました。

(2) 課題・提言

- 生徒に将来の健康づくりを意識づけてください。
- さらに利用しやすい教育相談の環境づくりに向けて、工夫をお願いします。

(3) 改善の方策

- 保護者や生徒に向けた「教育相談だより」の発行や啓発活動など情報発信について工夫します。
- 教職員の現職教育を充実します。

【22年度目標(案)】

基本的な生活習慣の実践能力の向上を目指します。

分析・考察	課題	改善の方法	総合評価
3.0	2.7	2.7	2.9

8 農場部

【21年度目標】

「産業人としての自覚と誇り、勤労意欲を醸成し、目標を持って実習に励む生徒の育成」

(1) 分析・考察

- 保護者からは、農業科の教育が職業人としての人生に役立つと期待されていますが、生徒の技術習得や資格取得への取り組みは低調です。
- 循環型社会に対応した農業教育はまだまだ十分にできていません。

(2) 課題・提言

- 生徒の技術や資格取得に必要な地道な努力を重ねる態度の育成をお願いします。

(3) 改善の方策

- 目標に向かって努力を続ける態度を育成し、達成したときに喜びを感じることができる指導を行います。
- 栽培・飼育計画の立案や、耕種などによるバイオマス利用など持続可能な農業を行います。

【22年度目標(案)】

産業人としての自覚と誇り、勤労意欲を醸成し、目標を持って実習に励む生徒を育てます。

分析・考察	課題	改善の方法	総合評価
2.9	2.7	2.7	2.9

9 家庭部

【21年度目標】

「学年に応じた学習指導の再検討」

「家庭クラブ県連及び四国連盟事務局校に向けての体制づくり」

(1) 分析・考察

- 学年進行とともに保護者、生徒は、実習をとおして家庭科の技術が身についたことを実感できています。
- 活発に家庭クラブ活動を行っています。

(2) 課題・提言

- 基礎力の定着から応用力のある技術が習得できる指導をお願いします。
- 生徒全体で取り組む家庭クラブ活動の意識づけをお願いします。

(3) 改善の方策

- 目的意識をもって学習に臨み達成感を感じることができる指導方法を工夫します。
- 生徒が家庭クラブ活動に参加、協力できる組織、運営計画、実践方法などを検討していきます。

【22年度目標(案)】

学年ごとの教材の精選と指導方法を工夫します。家庭クラブ県連及び四国連盟事務局校として、教師と生徒が協力して会長校の責任を果たします。

分析・考察	課題	改善の方法	総合評価
2.9	2.9	2.9	2.9

おわりに

学校評価は、学校が家庭や地域と連携協力して、学校が行う活動の改善を行っていくためのものです。

われわれ教職員は、このことをしっかりと自覚し、今回の学校評価の結果をもとに、生徒へのよりよい教育の提供に努めていきたいと考えています。

今後、学校のさまざまな活動については、保護者や地域の方に、情報発信を行ってまいりますので、ご意見や感想を学校までお寄せいただきたいと思います。